

# SMART CITY

## スマートエネルギー都市

日本経済を牽引する都市として、様々な都市機能が集積する東京。集積のメリットを生かし、建物間でエネルギーのやり取りをしたり、再生可能エネルギーの利活用を進めたりすることで、スマートエネルギー都市の実現が図られます。

COMMENT >> MIKI MURAKI

村木美貴 千葉大学大学院工学研究科教授

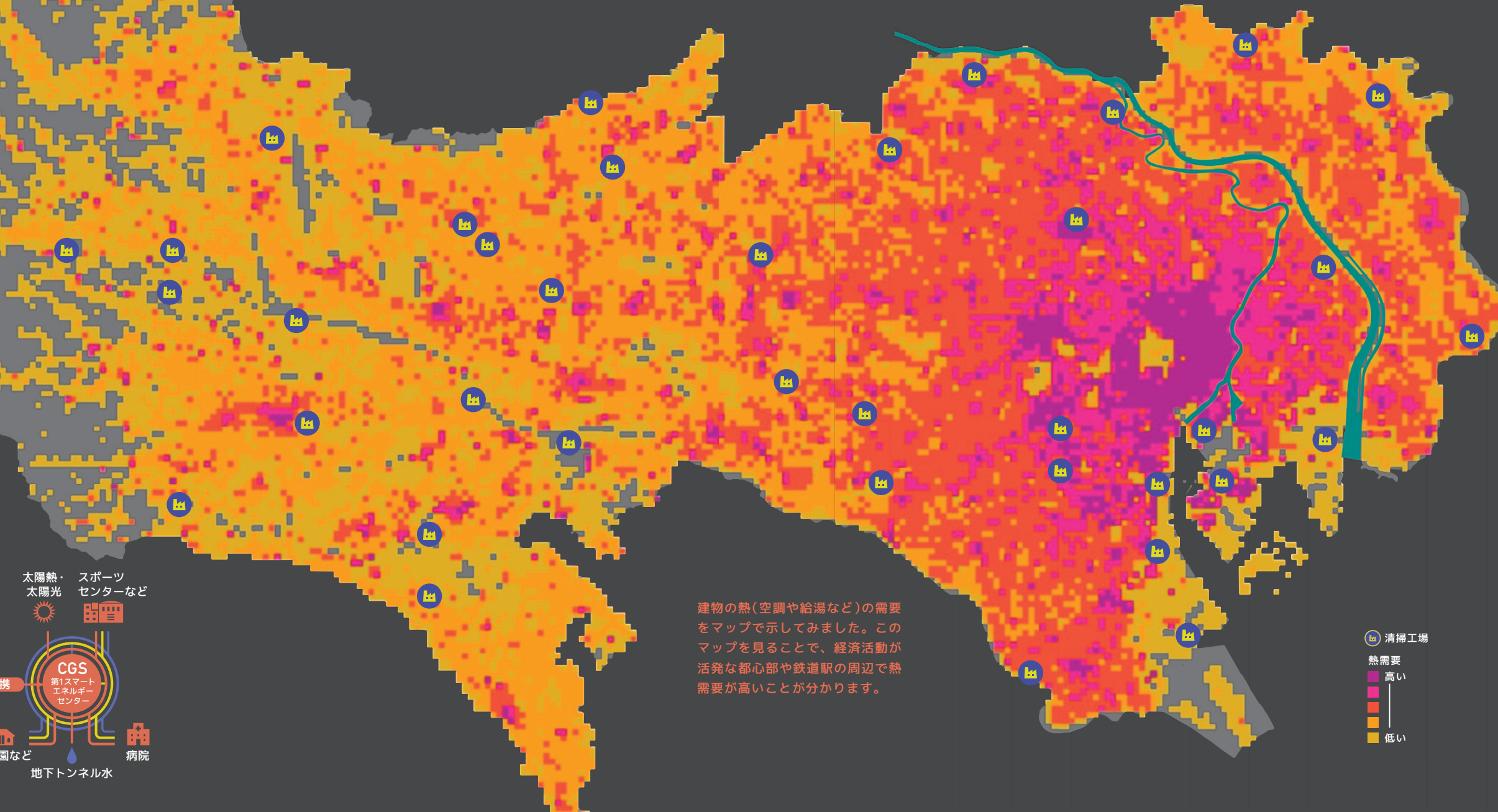
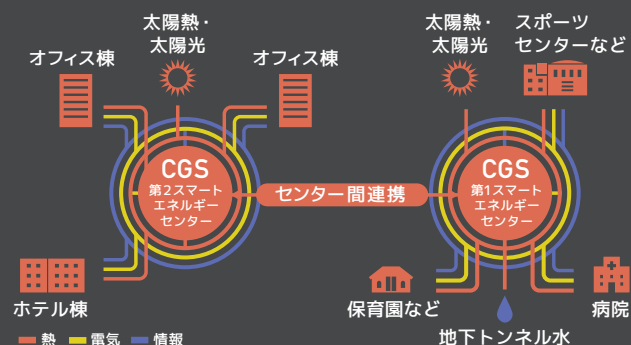
都市計画マスタープラン、広域都市計画、低炭素型都市づくりを専門とし、都市環境エネルギーの面で積極的な提言を行う。博士(工学)

### 東京だからこそできる環境と経済の両立

世界を見渡しても東京ほど都市の更新が盛んなところはありません。エネルギー需要が集積し、開発も盛んな東京が、都市づくりを通じて積極的に低炭素化に取り組めば、経済面だけでなく環境面でも、世界の都市をリードすることが可能です。その際、民間企業のメリットも考え、結果的に市民が低コストでエネルギーを享受できる「みんなが幸せになる」視点も大切です。今や世界的な企業は、そのステータスとして低炭素型の不動産に入居することを望んでいます。東京の都心部やそれ以外の拠点においても、商業や文化、ホテルなど様々な用途を集積させ、それらをエネルギーのネットワークで結び、未利用エネルギーも活用する。そうした賢いエネルギーの利用により、都市としての価値は飛躍的に高まり、世界から注目を浴びる都市となるでしょう。

### 効率的なエネルギー利用に 取り組むまちづくり

オフィスや商業施設、ホテル、病院など、エネルギー利用のピーク時間が異なる用途間でのエネルギーの相互利用や太陽光などの未利用エネルギーの活用など、スマートエネルギーネットワークを構築しています。(港区田町駅東北地区)



建物の熱(空調や給湯など)の需要をマップで示してみました。このマップを見ることで、経済活動が活発な都心部や鉄道駅の周辺で熱需要が高いことが分かります。

🏢 清掃工場  
熱需要  
高い  
低い